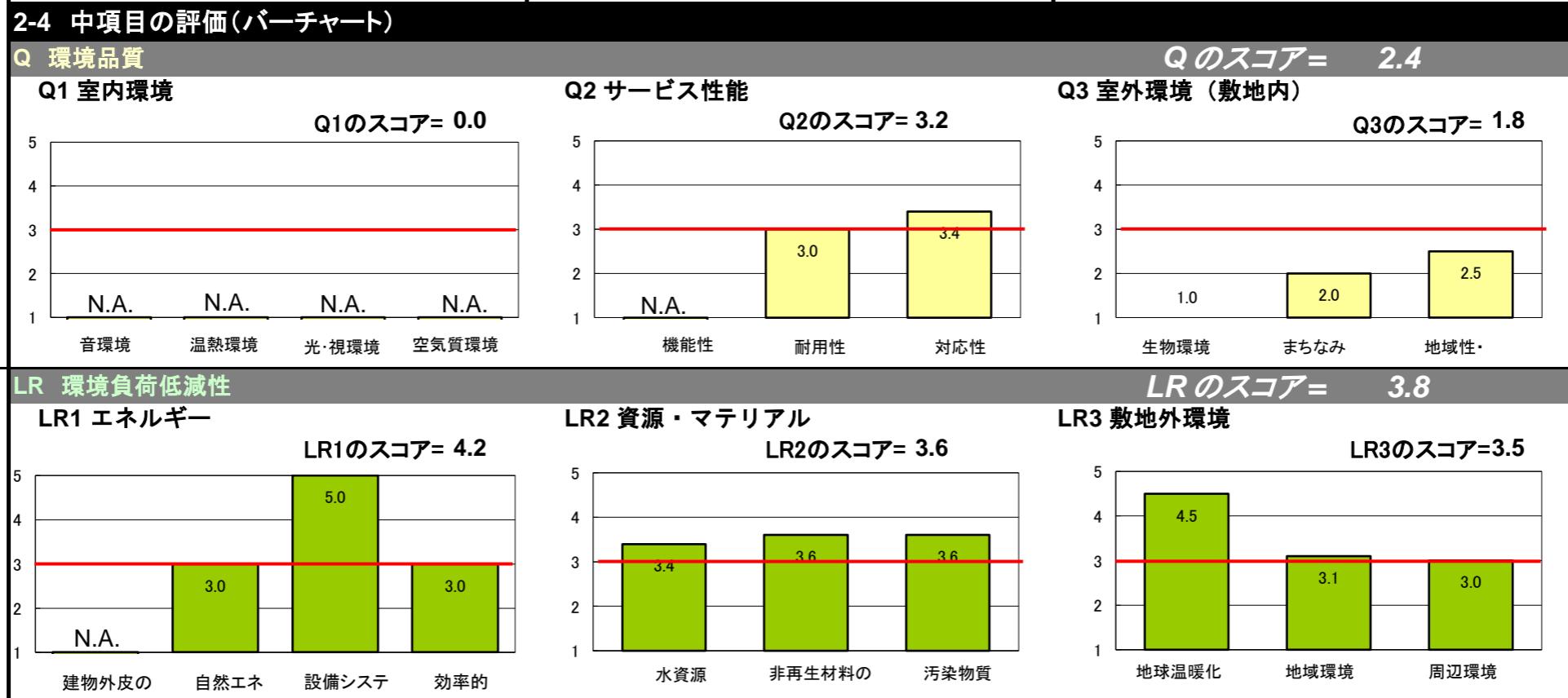
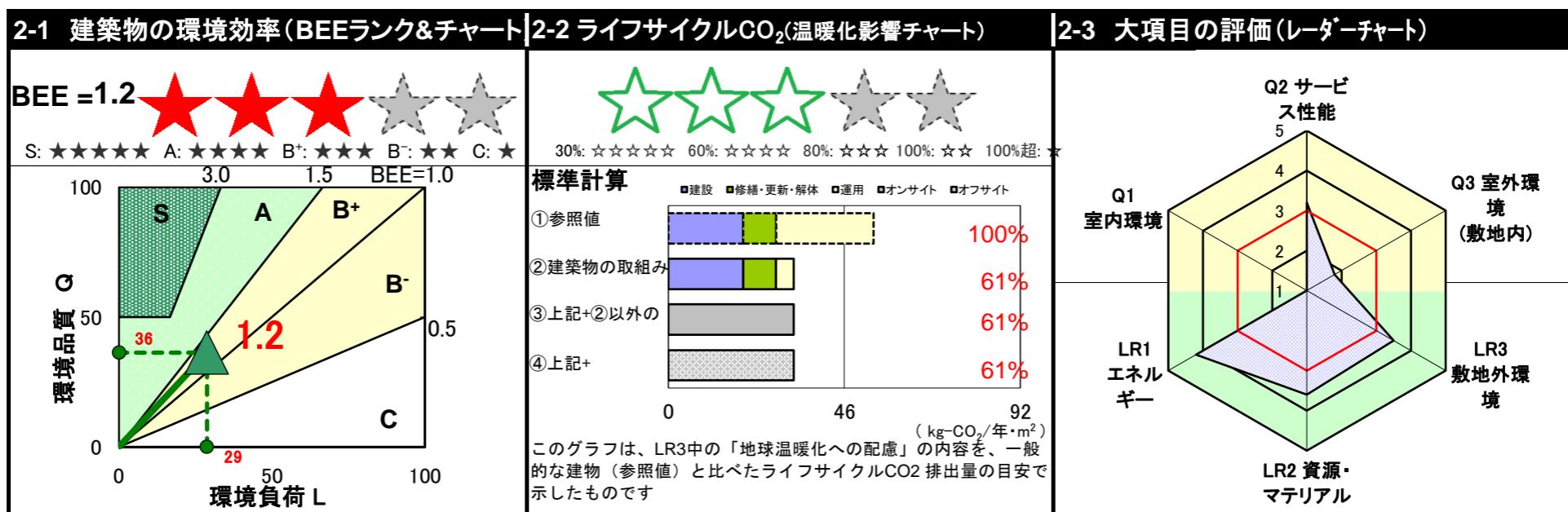


# CASBEE®あいち

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	井村屋フーズ株式会社 中原工場 新工場棟	階数	地上2階
建設地	愛知県豊橋市中原町字地歩11番3他19筆	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	45人
気候区分	7地域	年間使用時間	8,520時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2021年2月 予定	評価の実施日	2020年4月28日
敷地面積	23,030 m <sup>2</sup>	作成者	林 彰吾
建築面積	1,307 m <sup>2</sup>	確認日	2020年4月30日
延床面積	2,051 m <sup>2</sup>	確認者	米田 聰



3 重点項目	①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化	②資源の有効活用	④地域材の活用
	<b>4.5</b>	<b>1.0</b>	<b>3.3</b>	<b>1.0</b>
				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2-2 耐用性・信頼性、Q-2-3 対応性・更新性

LR-2-2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3-1 生物環境の保全と創出

$$\text{外構緑化指標} = \frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$$

$$\text{建物緑化指標} = \frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$$



スコアシート 実施設計段階		独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部		建物全体・共用部・宿居・宿泊部		住居・宿泊部分		全体
配慮項目				評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>										
<b>Q1 室内環境</b>										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル				3.0	-					
1.2 遮音				-	-					
1 開口部遮音性能				-	-					
2 界壁遮音性能				-	-					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-					
1.3 吸音				-	-					
2 溫熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温				3.0	-					
2 外皮性能				3.0	-					
3 ゾーン別制御性				3.0	-					
2.2 湿度制御				3.0	-					
2.3 空調方式				3.0	-					
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
1 昼光率				3.0	-					
2 方位別開口				3.0	-					
3 昼光利用設備				3.0	-					
3.2 グレア対策										
1 昼光制御				6.0	-					
3.3 照度				3.0	-					
3.4 照明制御				3.0	-					
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質				3.0	-					
4.2 換気										
1 換気量				3.0	-					
2 自然換気性能				3.0	-					
3 取り入れ外気への配慮				3.0	-			3.0	-	
4.3 運用管理										
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	-					
2 喫煙の制御				3.0	-					
<b>Q2 サービス性能</b>										
<b>1 機能性</b>										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性				3.0	-					
2 高度情報通信設備対応				3.0	-					
3 バリアフリー計画	独自			3.0	-					
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観 (天井高)				3.0	-					
2 リフレッシュスペース				3.0	-					
3 内装計画				3.0	-					
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計				3.0	-					
2 維持管理用機能の確保				3.0	-					
<b>2 耐用性・信頼性</b>										
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.5	3.0	0.52				3.0
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				0.4	3.0	0.48				
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.80				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	3.0	0.20				
1 車体材料の耐用年数				0.3	3.0	0.33				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					3.0	0.23				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.23				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					4.0	0.09				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.08				
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.15				
2.4 信頼性					3.0	0.23				
1 空調・換気設備				0.1	3.0	0.19				
2 給排水・衛生設備				3.0	3.0	0.20				
3 電気設備				3.0	3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				3.0	3.0	0.20				
5 通信・情報設備				3.0	3.0	0.20				

床:タイル・RC、壁:ボード+塗装・クロス等、天井:ボード、テント:膜

井水利用と浄化槽処理

3 対応性・更新性	②	階高5.4m ラーメン構造	0.4	3.4	0.48	-	-	-	3.4
			0.3	4.6	0.31	-	-	-	
			-	5.0	0.60	3.0	3.0	-	
			3.0	4.0	0.40	3.0	3.0	-	
			3.0	3.0	0.31	3.0	3.0	-	
			0.3	3.0	0.38	-	-	-	
			-	3.0	0.17	-	-	-	
			3.0	3.0	0.17	-	-	-	
			3.0	3.0	0.11	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)	③		3.0	3.0	0.11	-	-	-	
			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
			-	0.57	-	-	-	1.8	
			-	1.0	0.30	-	-	-	1.0
			-	2.0	0.40	-	-	-	2.0
LR 建築物の環境負荷低減性	④		0.3	2.5	0.30	-	-	-	2.5
			-	3.0	0.50	-	-	-	
			-	2.0	0.50	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	
LR1 エネルギー	①		-	0.40	-	-	-	3.8	
			3.0	-	-	-	-	-	4.2
			3.0	3.0	0.13	-	-	-	3.0
LR2 資源・マテリアル	②	LED照明機器の採用	3.0	5.0	0.63	-	-	-	5.0
			0.2	3.0	0.25	-	-	-	3.0
			1.0	3.0	1.00	-	-	-	
			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
			-	3.0	-	-	-	-	
1 水資源保護	③	省水型機器の利用	-	0.30	-	-	-	3.6	
			0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
			3.0	4.0	0.40	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減	④	- 床タイル:ポーチとホール、ビニル床シート:事務所、廊下、階段 躯体と仕上げは乾式工法。冷凍冷蔵庫ユニット	0.6	3.6	0.63	-	-	-	3.6
			-	2.0	0.07	-	-	-	
			-	3.0	0.25	-	-	-	
			-	3.0	0.21	-	-	-	
			3.0	4.0	0.21	-	-	-	
			3.0	-	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避	② ③ ④	ODP=0かつGWP=1	3.0	5.0	0.25	-	-	-	3.6
			0.2	3.6	0.22	-	-	-	
			3.0	3.0	0.32	-	-	-	
			0.6	4.0	0.68	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	
			3.0	5.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境	①	LED照明機器の採用	-	0.30	-	-	-	3.5	
			4.5	0.33	-	-	-	4.5	
			0.3	3.1	0.33	-	-	-	3.1
2 地域環境への配慮	② ③ ④	燃焼器の使用が無い 敷地外で従業員の駐車場を確保、搬出入口を交通量の少ない道路	5.0	0.25	-	-	-		
			2.0	0.50	-	-	-		
			0.2	3.5	0.25	-	-		
			-	3.0	0.25	-	-		
			-	3.0	0.25	-	-		
			5.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮	② ③ ④	- 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制 3 日照阻害の抑制 3.3 光害の抑制 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 2 基光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	3.0	0.33	-	-	-	3.0
			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
			3.0	-	1.00	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	
			0.4	3.0	0.40	-	-	-	
			3.0	0.70	-	-	-	-	

## 重点項目スコアシート

井村屋フーズ株式会社 中原工場新工場棟

実施設計段階

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>4.5</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.5	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.3</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.6	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:18.1%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>		(評価ポイント)		<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

## ■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化  
 重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用  $(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}$   
 重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用  
 重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■建物名称 井村屋フーズ株式会社 中原工場新工場棟

計画上の配慮事項	
総合	食品製造業施設の1施設として、食品製品製造に特化した工場棟の建設。従前の施設の仕様に準拠して計画するも、将来の機器変更に対して柔軟に対応できる構造形態としている。
Q1 室内環境	
Q2 サービス性能	・階高にゆとりを持たせ、将来の生産設備交換への柔軟性を配慮した。 ・生産施設のある部分は荷重のゆとりを配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)	・今回申請建物周囲は特に植栽範囲を多くして緑化に努め、十分に広く見通しの良い空間構成に配慮した。
LR1 エネルギー	・LED照明器具利用により、消費電力量の低減を配慮した。
LR2 資源・マテリアル	・衛生機器には節水型の商品利用を配慮した。 ・躯体以外の材料にはグリーン購入法の商品利用を配慮した。 ・鉄骨造により躯体と仕上げ材の分別解体が容易で、冷蔵庫パネルの再利用が可能。
LR3 敷地外環境	・燃焼機器を設けず大気汚染防止に配慮した。 ・出荷車両の出入口を交通量の少ない位置に配置、敷地外に駐車場を設け交通負荷抑制に配慮した。
その他	